

工学研究科 環境デザイン専攻 博士前期課程

【教育目標】

教育研究上の目的を受けて「美・アメニティ・機能を備える接続可能な環境・空間・モノ（器物や製品）を、多様な視点、豊かな感性、確かな技術力・想像力をもってデザインし、より望ましい生活環境を総合的・包括的に創出する」という理念のもとに、都市環境、建築、インテリア、クラフト、プロダクトのデザイン専門分野だけに留まらず、横断的にデザインの幅広い分野で活躍でき、我が国のみならず国際社会にも活躍できるデザイナー、研究者の育成を教育目標としている。そのために、高い専門性と深い学識に加えて分野横断型の幅広い専門性ならびに豊かな教養・デザイン力・国際性を兼ね備え、新しいデザイン分野を切り拓く高い創造性を持った人材を育成することを目標としている。

【ディプロマ・ポリシー】

専攻が定めた所定の単位を修得し、修士論文、あるいは修士作品の審査を受け、それに合格した者に修士(工学)の学位を授与します。

修了にあたっては、都市環境・建築・インテリア・クラフト・プロダクトのデザイン分野における幅広い知識や、その基礎知識に裏付けられた高度な専門知識や技術、表現力、そして、これらに応用できる能力を身に付けていることが求められます。

【カリキュラム・ポリシー】

環境デザインでは都市環境・建築・インテリア・クラフト・プロダクトの分野を扱っている。これらは互いに深く関連しており、これからの文化・社会環境を形成していく重要な分野となるため、各専門分野の学術的進展と共に各分野を横断しながらの学問的展開が望まれています。このような社会的要請に応えるため、デザインの基礎研究から応用に渡る研究を行うと同時に、関連分野の広い見識を深め、グローバルな視点からの独創的なデザインの開発と研究を担うことのできる人材の養成を目指したカリキュラムを編成しています。

【アドミッション・ポリシー】

環境デザイン専攻では次のような人材を求めています。

1. 都市環境・建築・インテリア・クラフト・プロダクトのデザイン分野において自らの課題を発見して解決するために必要となる基礎的な知識、技術を備えている人。
2. 研究活動において、柔軟な発想と洞察力をもって課題の発見に対し努力でき、積極的に取り組む意欲を持っている人。
3. 深い探究心を持ち、高度な専門性を必要とする職務を担おうとする人。

改正 2017年2月21日